



〒764-8502
香川県仲多度郡多度津町南鴨
200番地1
代表TEL/0877-33-2221
FAX/0877-22-2210

<https://www.yonkei.co.jp/recruit/>

●設立 1951年12月
●社長 取締役社長 寺井 昇二
●資本金 4億8000万円
●社員数 849名
●基本給 大学院了：月給20万9400円
大学卒：月給20万2000円

●休日休暇 完全週休2日制(土日)・国民の祝日・年末年始(12月29日～1月3日)・創立記念日(5月1日)・年次有給休暇(勤続年数に応じて15・17・20日)・特別休暇(夏期休暇3日など)
●福利厚生 ◆法定福利厚生：健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険 ◆法定外福利厚生：独身寮および借り上げ社宅・慶弔見舞金・財形貯蓄制度・持株制度・退職金制度・確定拠出年金制度・カフェテリアプラン・育児休暇・介護休暇

▶インターンシップの受入れ/要相談
▶大学生アルバイトの受入れ/不可
▶採用担当者連絡先/
住所/香川県仲多度郡多度津町南鴨200番地1
担当部署/組織人事部 横山・平尾
採用担当者連絡先/050-8802-2137
mail/ jinji@yonkei.co.jp

【四国電力グループ】 四国計測工業株式会社

製造事業(計器・産業事業・電力事業)/エネルギー・環境事業(原子力・電気計装)

働く環境や制度面等様々な取り組みを行っています。



研修制度

研修制度は、社内外共に充実!階層別研修、WEB研修、e-learningなど、個人に合った能力開発を行っています。(アイデア道場の様子)



Creative Space

テーマカラーを用いた創造性向上空間(休憩室・立ち会議室)では、会議の効率化やアイデア・イノベーションの向上を図っています。



高松サテライトオフィス

業務や気分に応じて社員が柔軟に働けるワークスタイルの実現を目的に2020年3月に開設。フリーアドレスでカフェのように居心地が良くリラックスできるオフィスです。



エネルギー・環境事業本部
電気計装部 設計課
横田 優樹さん

地元志向だった自分を変えた 海外のビッグプロジェクト

火力発電所の計装機器の保守・メンテナンス業務、プラント制御装置やソフトの製作などを中心に、国内外を問わずさまざまなプロジェクトに参加してきました。中でも大規模だったのは、大手プラントメーカーの世界最新鋭火力プラントの新設プロジェクト。ソフト製作から運転開始まで一貫して携わる貴重な経験となりました。初めての海外出張で訪れたタイでの制御システム更新業務も、思い出深いですね。言語の壁に苦労しながらも、積極的にお客様と対話を重ねて少しずつ打ち解けて…。仲間と支え合えるありがたさとともに、コミュニケーションの大切さをあらためて実感したものです。



現在は設計部門に異動し、工事や業務の計画に携わっています。以前は「設計部門が計画したことを実行する」立場だったのが、今は自分が計画するわけですから、責任感も強くなりました。入社当初は現場志向・地元志向だったんですが、数々の出張を経験して、広い視野で仕事に打ち向き合うようになりましたね。県外、海外の仕事にもどんどんチャレンジしたいし、そういうチャンスが手に入りやすい環境だと思いますよ。



製造事業本部 電力事業部
ソフト設計部 ソフト第三課
課長 三瀬 由子さん

女性技術者が働きやすい環境づくりを 管理職としてリードしたい

情報の知識を生かし、男性と肩を並べて働きたいと思っていた私にとって、女性技術者の育成に熱心でバリバリ仕事を任せてくれる社風は魅力的でした。ずっと半導体の試験装置にかかわっていて、現在はデータ解析を通じてお客様の生産効率向上に貢献しています。何カ月も海外やお客さま先に派遣されてさまざまな経験を積んだことで、自分の世界も大きく広がりました。システムは、コミュニケーションを通じてお客様のニーズを把握してこそ、つくる意味があります。他のお客さまに応用できれば、当社の付加価値を高めることにもつながりますから、今後も勉強を深めていきたいですね。



女性技術者として、社内で困ったことや不利に感じたことはほとんどないんです。子どもが2人いるんですが、産休育休からスムーズに復帰できましたし、サポートしてもらえる環境や体制もさらに整いつつあります。女性の意見を会社づくりに反映し、ライフステージが変わっても楽しく仕事を続けられる環境を実現するためにも、女性管理職としてキャリアを追求しようと思っています。



製造事業本部 計器・産業事業部
産業システム部 検査課
大林 雅也さん

「機械に命を吹き込む」手応えを胸に 技術営業としての道も追求したい

制御機器メーカーとして高く、あらゆる分野にチャレンジする姿勢に共感して当社を選びました。「ここでものづくりをしたい」と強く思えたのは、雰囲気よさ大きい要因です。今の仕事は、農業と食品製造業を中心に、さまざまな機械の検査・点検・修理を手掛けるエンジニアです。最初は図面も読めなくて、言われたことをこなすので精一杯でしたが、図面がわかるようになってくると、「次に何をやるか」を先取りして自分から動けるようになってきたのが一番成長を感じるところかな。当社の機械は、最終的に僕たち検査課が調整して「よし、電気を入れよう」と判断します。これを僕は「機械に命を吹き込む」ことだと思っていて、その決断を自分で下した機械がお客さま先で実際に動いて活躍しているところを見ると、ものづくりの醍醐味だなとしみじみ思うんですよ。



コミュニケーションが好きなので、営業職にも興味を抱いています。ただの営業ではなく、検査や設計まで全部わかっていて、電話一つで対応できるエキスパートが目標です。ジョブローテーションの風土も生かして、これからいろんなことを学んでいきたいですね。



多度津町エジン WEB動画公開中!



**電力関連を主軸に
ダイナミックな事業展開**

四国電力グループの一員として、発電所や電力ネットワークに関連する計測制御装置の製造、工事保守などを通じて電力の安定供給を支える四国計測工業(寺井昇二社長)。その一方で、多様な産業分野からの要請に応えるオーダーメイドのモノづくりに力を注ぐ。ゼロからスタートし、製品となるまで、トータルに手がけるモノづくりは各分野から高く評価されている。そして、2020年度には、次世代育成支援法に基づく優良企業の証「くるみん認定」を取得。加えて労働時間の削減に積極的な企業として「ベストプラクティス企業」に選ばれたこと、より働きやすい職場を目指す、労働環境の整備にも力を入れて取り組んでいる。

力量計の修理調整を行う会社として1951年に事業をスタート。その後、発電所の電気計装設備の設計・施工・保守や、電力会社向けシステム装置の設計・製造へ

情熱的創造の スペシャリストたち

造性の高い製品を生み出してきた背景には、同社の多様な事業分野において、それぞれのスペシャリストが飽くなき挑戦を続けてきた、という歴史がある。その情熱は現在もエンジニアに受け継がれており、新規事業の創出と既存事業の深堀を両輪とした「両利きの経営」のもと、「一丸となつてさらなる成長を目指す」。

付加価値の高い技術で 自在に新境地を開拓

と順次業務を拡大。近年では、再生可能エネルギー制御システムを多くの電力会社に納入するなど、電力供給システム全般に広く重要なサービスを提供している。

産業用メカトロクス機器の設計・製造においては、電力会社向け事業を通して培った計測・制御技術に加えて、研究開発部門から生まれた画像処理・マイクロ波応用技術など、得意とする技術をふんだんに活かした業界向けに、自動化・省力化製品を提供している。近年では、マイクロ波技術を用いて肉などの食材の熟成期間を大幅に短縮する「Aging Booster」を開発。また、今後の市場拡大が期待できるワークチン製造などのバイオ向け産業機器については、海外販売にも注力しており、国内外ともに幅広く顧客のニーズに応える製品を創り出している。